

日本薬局方 イソプロパノール

Isopropanol
外用殺菌消毒剤

16L

【貯法】

- 気密容器
- 火気を避けて保存

【組成・性状】

- 1mL中、日局イソプロパノール 1mL含有
〔イソプロパノール(C₃H₈O: 60.10) 99vol%以上含有〕
- 本品は無色澄明の液で、特異なおいがある。
比重 d₄²⁰ : 約 0.787

【効能・効果】【用法・用量】

| 効能・効果 | 用法・用量 |
|------------|--------------------------|
| ● 手指・皮膚の消毒 | 通常、50～70%に希釈して消毒部位に塗布する。 |
| ● 医療機器の消毒 | |

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において栄養型細菌(グラム陽性菌、グラム陰性菌)、酵母菌、ウイルス等には有効であるが、芽胞(炭疽菌、破傷風菌など)及び一部のウイルスには殺菌効果は期待できない。

【取扱い上の注意】

1. 取扱作業場所には局所排気装置を設けて下さい。
2. 容器から出し入れするときは、こぼれないようにして下さい。
3. 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じ防毒マスク又は送気マスク、保護手袋等を着用して下さい。
4. 取扱い後は手洗いを十分行って下さい。
5. 一定の場所を定めて貯蔵して下さい。

アルコール類・危険等級Ⅱ・水溶性

火気厳禁

GSI-RSS

0114987296225184



4 987296 225187



製造販売元
山善製薬株式会社
大阪市中央区道修町2丁目2番4号

製造番号
使用期限

2002年4月全面改訂

承認番号 16100AMZ 01616 薬価収載 1984年1月
販売開始 1984年1月 再評価結果 1983年4月

日本標準商品分類番号 872615

【禁忌(次の部位には使用しないこと)】

損傷皮膚及び粘膜(刺激作用を有する)

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 薬液を含浸させた消毒綿は、気密容器に入れて保存すること。(アルコールが蒸発して殺菌力が減退する)
- 2) 眼に入らないよう注意すること。入った場合には直ちに水でよく洗い流すこと。
- 3) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。(イソプロパノール蒸気に大量又は繰り返しさらされた場合、粘膜への刺激、頭痛等を起こすことがある)

2. 副作用(本剤は、副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない)

| 種類・頻度 | 頻度不明 |
|--------|------|
| 過敏症(注) | 発疹等 |
| 皮膚(注) | 刺激症状 |

注) このような症状があらわれた場合には使用を中止すること。

3. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起すことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

4. 適用上の注意

- 1) 適経路 外用にのみ使用すること。
- 2) 使用時
 - (1) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起すことがあるので注意すること。
 - (2) 本剤は血清、膿汁等の蛋白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落してから使用すること。
 - (3) 合成ゴム製品、合成樹脂製品、光学器具等には変質するものがあるので、このような器具は長時間浸漬しないこと。
 - (4) 本剤は引火性・爆発性があるため、火気(電気メス使用時も含む)には十分注意すること。